

平成 29 年度第 1 回印西市文化ホール運営会議録

- 1 開催日時 平成 29 年 6 月 22 日 (木)
14 時 00 分から 15 時 00 分まで
- 2 開催場所 印西市文化ホール 2 階 大会議室
- 3 出席者 津田晴美委員、荻原孝恵委員、君塚信宏委員、後藤実委員、小名木洋子委員、石橋拓也委員、金子元久委員、小金さつき委員
- 4 欠席者 1 人
- 5 実施機関 生涯学習課
- 6 事務局 飯島生涯学習課長 鈴木館長、海老原主査、細山主任主事
- 7 傍聴者 0 人
- 8 議題 (1) 平成 28 年度事業報告について
(2) 平成 29 年度事業計画について
(3) その他
- 9 議事 【次第に基づき発言の要約を記録】

次第 1 開会 (館長)

開会の辞、本会議の進行を務めること、会議を公開する関係上後ろに傍聴席があること、会議録作成のため録音することを伝える。

次第 2 座長あいさつ

【議長】

それでは、議題に入ります。

議題 (1) 「平成 28 年度事業報告について」事務局の説明を求めます。

【事務局説明】

それでは、平成 28 年度事業報告について説明させていただきます。

お手持ちの資料右上に記載されております資料「平成 28 年度事業報告」をご覧ください。

それでは説明に入ります。

平成 28 年度は事業のジャンルとしては、鑑賞型事業が 8 事業、参加型事業が 2 事業、地域文化振興型事業が 1 事業、合計 11 事業を実施いたしました。

それでは、事業ごと上から順に説明させていただきます。

① 5 月 15 日に実施しました「ワークショップ カンジャマ・マイム」について、収入合計は 1 万 8,500 円、支出合計は 0 円です。

こちらの公演の基金による補てんはありませんでした。

② 5 月 22 日に実施しました、「May J. 10th Anniversary Tour 2016」について、チケットの売上枚
チケットが発売日初日に完売しました。収入合計は 276 万 6,182 円、支出合計が 559 万 2,967 円です。
基金による補てんは 282 万 6,785 円となります。

③ 6 月 5 日に実施しました「ワークショップ わらび座」について、

収入合計は 1 万 7,500 円、支出合計は 0 円です。

こちらの公演での基金による補てんはありませんでした。

④ 6 月 26 日に実施しました、「カンジヤマ・マイム おしゃべりなパントマイム」について、

収入合計は 19 万 7,900 円、支出合計が 112 万 9,673 円です。

基金による補てんは 93 万 1,773 円となります。

⑤ 7 月 17 日に実施しました、「市制施行 20 周年記念事業 わらび座 ミュージカル げんない」

について、収入合計は 117 万 7,955 円、支出合計が 276 万 5,398 円です。

基金による補てんは 158 万 7,443 円となります。

⑥ 8 月 21 日に実施しました「いんざい寄席 春風亭小朝独演会」について、

収入合計は 127 万 3,000 円、支出合計が 210 万 7,793 円です。基金による補てんは 83 万 4,793 円となります。

⑦ 9 月 11 日に実施しました「川井郁子ヴァイオリンコンサート」について、

収入合計は 135 万 6,155 円、支出合計が 188 万 7,088 円です。

基金による補てんは 53 万 933 円となります。

⑧ 12 月 11 日に実施しました「菌田憲一とデキシークィングス with FUMIKA クリスマス・ジャズコンサート」について、収入合計は 61 万 2,683 円、支出合計が 201 万 6,547 円です。

基金による補てんは 140 万 3,864 円となります。

⑨ 1 月 22 日に実施しました、「いんざい爆笑ものまねライブ 2017」について、

収入合計は 49 万 6,087 円、支出合計が 219 万 9,881 円です。

基金による補てんは 170 万 3,794 円となります。

⑩ 「文化ホール映画会」については、入場料無料公演のため収入はありません。支出合計は 48 万円でした。基金による補てんは 48 万円となります。

⑪ 「芸術文化発表会 ロビーコンサート」は、収入及び支出がありません。

平成 28 年度の収入合計は 791 万 5,962 円、支出合計は 1,817 万 9,347 円で、基金による補てんは、1,026 万 3,385 円です。

平成 28 年度の文化ホール事業実績報告は以上です

【議 長】

以上の事務局の説明に対しまして、ご質問、ご意見等はございますか。

【議 長】

意見なしということで、平成 28 年度事業報告は了承されました。

【議 長】

次に議題（2）「平成 29 年度事業計画について」事務局の説明をお願いします。

【事務局】

平成 29 年度文化ホール事業の計画について、ご説明させていただきます。

資料「平成 29 年度事業計画」をご覧ください。平成 29 年度の文化ホール事業計画といたしましては、鑑賞型事業が 9 事業、参加型事業が 2 事業、学校公演型が 1 事業、地域文化振興型事業が 1 事業の、合わせて 13 事業でございます。 それでは順にご説明させていただきます。

① 6月3日 「チャラン・ポ・ランタン ホールツアー2017 唄とアコーディオンの姉妹劇場」を実施致しました。

チケット価格は全国一律の4,200円です。収入合計は204万7,786円です。支出合計は191万092円です。収支は12万8,694円黒字になりました。

② 8月5日 「渡辺美里 LIVE TOUR 2017 M ジェネレーション」を実施します。こちらの公演は、昨年でデビュー30周年を迎えた実力派女性シンガー渡辺美里による真夏に行われる全国コンサートツアーを印西市文化ホールで実施いたします。渡辺美里は西武球場（現在の西武ドーム）で20年連続公演の記録を達成しているほか、代表曲 **My Revolution** を初め多数のヒット曲を持つ日本を代表する女性ボーカリストです。チケット価格は全国一律で7,300円です。

収入見込み額の合計は283万2,400円です。支出見込み額合計は584万3,000円です。

③ 8月18日 「ワークショップ ようこそ寄席に」を実施します。

こちらにつきましては印西市内在住の落語家金原亭馬治による落語の入門講座や直接指導していただく落語体験などをいんざい寄席の前日に小学校3年生以上を対象に先着30名程度の定員を募集してホールの舞台に高座をセットして実施いたします。

参加料は大人1,000円、こども500円です。なお、いんざい寄席のチケット購入者には500円の割引を予定しております。参加者の申し込み受付開始は7月15日からです。

収入見込み額合計は1万8,000円です。支出見込み額の合計は36万1,120円です。

④ 8月19日 「いんざい寄席」を実施します。毎年恒例の「いんざい寄席」に、人気テレビ番組の笑点でお馴染みの三遊亭小遊三を初め、柳家小さんの孫にあたる若手人気落語家の柳家花緑や歯切れのよい落語を披露する古今亭菊之丞、俗曲家の桧山うめ吉など豪華な顔触れで開催いたします。今回は夏の開催が恒例となったいんざい寄席にお越しのお客様全員に、いんざい寄席特製「うちわ」のプレゼントや市民招待席の展示スペースを利用した「いんざい寄席の歴史展」や前日に行われるワークショップなどの特別企画も予定しております。チケットは現在発売中で一般料金が3,500円、子ども料金が2,000円、65歳以上の高齢者は一般料金から500円引きで販売いたします。収入見込み額の合計は125万1,000円です。支出見込み額の合計は184万4,800円です。

⑤ 9月3日 「蠟燭能」を実施します。

幻想的に包まれた能舞台で一流の演者たちが織りなす日本古来の伝統文化「蠟燭能」を実施します。出演者は能楽師の観世喜之、小島英明、野村萬斎です。演目前には一流能楽師による能楽講座で能の魅力を初心者にも分かりやすく解説していただきます。演目は観世喜之による能（仕舞）、野村萬斎による狂言、小島英明による蠟燭能です。

チケット価格は一般料金が5,000円、子ども料金が2,000円です。65歳以上の高齢者は一般料金から500円引きで販売いたします。チケットの発売は7月2日を予定しております。

収入見込み額の合計は208万5,000円です。支出見込み額の合計は389万4,600円です。

⑥ 9月23日 「熱唱！演歌新時代 岩佐美咲 コンサート」を実施します。

岩佐美咲は、人気グループAKB48初の演歌歌手でシングルCDはデビュー曲から6作連続で演歌部門の週間売上1位を獲得している千葉県出身の期待の若手演歌歌手です。

チケット価格は一般料金が5,000円で7月9日発売予定です。収入見込み合計は194万円です。支出見込み合計は170万円です。

⑦ 10月29日 「東宝演劇 ミッドナイト・イン・パリ」を実施します。

こちらの公演は、映画やテレビドラマで活躍中の栗山千明、溝端淳平、中村雅俊、浅田美代子など人気俳優4名とミュージシャンによる生演奏で行われる舞台演劇です。また NHK 朝の連続テレビ小説ひよっこなどで活躍中の脚本家岡田恵和が手掛ける話題の演劇です。こちらの公演は東京で2週間公演した後に全国12か所の主要都市での地方公演も予定しております。なお、こちらの公演は東京公演のチケット料金が全席9,200円の販売に対して、印西市文化ホールでは一般チケット価格が7,500円、小学生から18歳までが対象のU18チケットが3,000円と格安料金での販売になっております。チケットの販売は8月20日を予定しております。収入見込み額の合計は291万円です。支出見込み額の合計は508万4,600円です。

⑧ 12月3日 「クリスマス・ファミリーコンサート・ズーラシアンブラス」を実施します。

毎年クリスマスシーズンに実施しているファミリー向けのコンサートを今年はズーラシアンブラスによるクラシックコンサートで実施します。平成20年に同公演を実施しており、その際に大好評で再演の要望が多数あった人気の公演です。こちらの公演は動物の着ぐるみを着たプロの演奏家たちによる大人から子どもまで楽しめるファミリー向けのクラシックコンサートです。

なお、ズーラシアンブラスは、昨年はディズニー映画ズートピアのエンディング曲を担当し、コンサートでは国内外で年間150公演を行い、40万人以上を動員した実績がある世界でも活躍する楽団です。

チケット価格は一般料金が2,000円、中学生以下の子ども料金が1,000円です。

収入合計は62万5,500円です。支出合計は132万160円です。

⑨ 1月19日 「文化教育支援企画ふれあいトリオコンサート〜吉田恭子と仲間たち〜」を実施します。

こちらの公演は1月21日に予定しております吉田恭子ヴァイオリンコンサートと連動企画で、印西市の小学校2校に午前、午後で1校ずつにプロのアーティスト3名（ヴァイオリニスト、ピアニスト、チェロリスト）が訪問して音楽室で子ども達と直接触れ合いながら、プロの演奏を生で見たり聞いたり、または一緒に演奏することにより音楽への興味を持っていただくなど、音楽を通して子ども達の心を育むプロジェクトです。訪問対象校につきましては、昨年の11月に市内全小学校に希望調査を行ったところ、6校からの実施希望があり、第一希望日の日程が合致した滝野小学校と本埜第一小学校での実施を予定しております。こちらの公演につきましては、チケット料金はありませんので、収入はございません。

なお、支出につきましては、公演料金は1月21日の吉田恭子ヴァイオリンコンサートに含まれておりますので、主な支出としてはピアノ調律代、交通費及びプログラム印刷代の5万円です。

⑩ 1月21日 「吉田恭子ヴァイオリンコンサート」を実施します。

こちらの公演は、学校訪問公演の連動企画で、プロヴァイオリニスト吉田恭子、ピアニスト白石光隆、チェロリスト渡部玄一による本格的な室内楽クラシックコンサートを実施します。なお、公演の際にはロビーホワイエにて印西市社会福祉協議会の協力のもとに作業所で作成した物品の販売を「ふれあいマーケット」として実施致します。

こちらの公演はチケット価格が一般料金2,000円、中学生以下の子ども料金1,000円です。

収入合計は83万4,000円です。支出合計は41万9,600円です。

⑪ 「文化ホール映画会」を実施します。映画振興を目的とし、懐かしの名作及び新作の映画等を上映し芸術鑑賞の場を提供します。上映作品は7月2日に宮沢え主演で日本アカデミー賞を受賞した「湯を沸かすほどの熱い愛」の上映を予定しております。なお、今年度の文化ホール映画会では8月に上映

予定の中央公民館のファミリー向けディズニーアニメ映画 1 作品を加えて共催で年間 4 作品の上映を予定しています。

映画会については、入場料を頂いておりませんので収入はございません。

支出見込み額の合計は 6 2 万円です。

⑫ 「芸術文化発表会 ロビーコンサート」を実施します。

こちらは多種多様な趣味・特技をもった市民の方々の発表の場であり、文化活動交流の場として、ホールを訪れる方々が気軽に楽しめる地域文化振興型コンサートを、前年度同様に開催します。

前期と後期で募集をかけて、前期では 1 0 公演の実施予定です。後期につきましては 8 月から募集を致します。ロビーコンサートにつきましては収入および支出がございません。

⑬ 「印西市文化ホール バックステージツアー」

文化ホールの普段見ることのできないステージの裏側や照明スタッフや音響スタッフが機材を操作をする部屋の見学及び反響板や演奏用雛壇のセット実演、スポットライト、ミラーボールの操作や影アナウンス体験などを実際に参加者に体験していただく文化ホールスタッフによる特別企画を 1 月に実施の予定です。参加費は無料のため収入および支出がございません。

以上の 1 3 事業を平成 29 年度は企画しております。

なお、平成 29 年度も有料公演につきましては障がい者割引を有料公演の全公演で一般料金から 500 円割引で実施いたします。

また、平成 29 年度は若者離れが進んでいる古典芸能やチケット料金の高額な舞台演劇などの公演に対して、若年層の文化・芸術への関心と次世代の育成を推進するために チケット価格を子ども料金や 18 歳以下料金の U18 チケットなどの安価な料金で若年層が気軽に足を運んでいただけるような料金設定をいたしております。

以上で、平成 29 年度事業計画の説明を終了します。

【議 長】

ありがとうございました。只今の説明に関して、ご質問等ございますでしょうか。

【委 員】

⑩のチェロリストはチェリストの間違いですか

【事務局】

そうですね。チェリストです。

【委 員】

バックステージツアーの対象者はどのようになっていますか。

【事務局】

市内在住の小中学生対象で親子 20 人程度を予定しています。

【委 員】

いんざい寄席のうちわの費用はどこからですか。

【事務局】

出演料に計上されています。

【委 員】

今回初めてチャランポランタンで黒字になったのを見ました。全部そういう風になるとよいですね。

【事務局】

ドラマがヒットした影響が大きかったと思います。印西でチャランポランタンをやったということで喜ばれました。年齢も小学生から60代70代ぐらいまで家族で来たり、友人など幅広い年齢でした。

【委 員】

先に先に呼んで良かったですね。前はちょっと早すぎたというのがありましたね。全部売り切れてから希望者は来ましたか。キャパが多ければこれ以上増えますか。

【事務局】

全部売れてから問い合わせはありました。うちが1番小さいキャパですが1000人ぐらいだったら売れたかもしれないです。

【委 員】

もったいなかったな。

【委 員】

他に質問はございませんか。ないようであれば平成29年度事業計画についてはご了承いただくということでよろしいでしょうか。では了承されました。議事については以上になります。

【事務局】

次に、「その他」でございます。1. 平成30年度主催事業の選定について2. 委員報酬についてです

【事務局】

1. 平成30年度の主催事業の選定について。現在主催事業の選定は文化ホールの職員により、選営委員の皆様のご意見や主催事業の際にお客様から頂くアンケート内のご希望やご意見を参考に、ファミリーから高齢者まで幅広い年齢層の男女が楽しめる内容の公演をプロモーターや企画制作業者などと連絡をとりながら公演の1年前から次年度の主催事業選定を行っております。

なお、これから次年度の主催事業を検討していくうえで、運営委員の皆様のご意見を聞かせていただけたらと思います。別紙の用紙にご記入いただき7月21日までに提出をお願いいたします。

なお、記入はわかる範囲で結構です。公演名・アーティスト名だけでなく、例えばクラシック音楽でピアノコンサートですとか、ファミリー向けの公演や参加型の公演などといった書き方でも結構です。

また、別紙は平成30年度の大まかな主催事業の計画案です。鑑賞型事業を10公演前後、参加型事業を1～2事業、地域振興型事業を1事業の実施で計画の予定です。今後、運営委員の皆さまの案や今までの主催事業で頂いてるアンケートでの案を参考にさせていただき、平成30年度主催事業の計画を検討して次回3月開催の第2回運営会議で報告させていただきます。夏休み前ファミリー向けコンサート、冬にクリスマスコンサート、夏にいんざい寄席は定着してきているので、今後も続けていきたいと思っています。2. 委員報酬については条例規則にもとづいて、口座振り込みとさせていただいております。次回の運営会議は3月を予定しておりますので出席いただけますようお願いいたします。

今後、事業計画を立てていくうえでたとえばチケットが相場より高いとか、落語2回等何か意見があれば7月21日までに提出していただきたい。なにかあれば、ご提案いただきたいのですが。

【委員】

ここの公演は良いものを行っているわりには、すごく安くても売れ切れることがないというのがすごく残念で、その理由として交通の便が悪い等、最初から赤字がわかっているのであれば学校ごとバスで連れてきてもらう。子供に楽しい経験をしてもらうのは赤字でも良い、仕方がないが、ファンクラブがとってしまって赤字があるのがわかっているのは、ちょっと違和感がある。ホールに来てもらうためには子供たちにホールに行くことを楽しんでもらう機会を持ってもらうのが良いです。毎年、ホールに行ったら芸術に触れられると良いと思います。

【委員】

市内の小学校の6年生は毎年芸術鑑賞会（能、落語鑑賞）に招待されて鑑賞しています。子供たちに芸術鑑賞で本物を見てもらうのはとても良いことです。広報で2020年をピークに人口が減っていく予定のため公共施設について見直しをしていくと書かれていましたが文化ホールはどうなっていますか。

【事務局】

3月に公共施設の総管理計画がでた。公共施設の維持管理が負担になってくるだろう。運営方法を考えていこうということです。印西市は文化ホールはここしかない。生涯学習施設、図書館複合施設、公民館（地域駅前交流館も含む）の管理費用がかさまない様に、管理計画を教育部、教育委員会で作る。芸術振興で文化ホールをなくすことはない。職員数にあった運営方法を提示していく必要がある。

【委員】

北総線沿線も家が徐々に家がたっているが2020年から人口が減っていく予想が強いのですか。

【事務局】

全国的に少子高齢化で、市は全体的に人口の減少を想定して柔軟性を考えておくが良いと考えている。

【委員】

他市を見てみると文化ホール施設を業社に丸投げしてしまってホールが貸し舞台になっている。印西市は市自身が活気的になっているのもあり縮小せず、拡大する方向へ市民への広報活動として事業性を宣伝していただけたらと思っています。

【事務局】

ホールはある意味特別な場所であり専門的な知識や技術が必要なものは専門の業者さんに依頼して、運営は市民のための施設である為そのような事を考えて運営していくのが良い。人口9.8万人、年間5万人が使っている施設を不要とは考えていない、平成6年から23年経って老朽化もありますが使いやすい文化ホールにしたいと考えていますので意見を伺いたいと思っています。

【委員】

千葉ニュータウンのクリーンセンターが数年経つと移転する。跡地にホールがあったら使いやすい。今の財政では難しい場合、広場のようなところに野外コンサートができる場所を確保して予算ができた時にそこにホールをつくるとか考えられるとよいのでは。

【委員】

文化施設は山にたとえられます。優れた文化が山の頂きにあり裾野を広げていく、こちらの施設は色々なジャンルのものを行っていてロビーコンサートは10から20と地域活動の発表の場を設けているとこのことで裾野を広げている。ファンクラブで券が売れたのは千葉の地元の方に近い所でやるとなると初日と最終日に人が集る。こちらは日頃から情報収集（アーティスト事務局）の成果ではないかと思いま

す。

【事務局】

毎回、地元の方という観点ではアンケートを取ってしまして印西市が半分以上いらっしゃる、県外からの人もいます。北海道、東北の方もいらっしゃいます。

【委 員】

印西市内か市外、他県からもどんどん来てもらう、住みよい街印西市 6 年連続 1 位になって、いろんな人が来る、市外にも発信したほうが利用価値がありよいのではと思います。

【委 員】

私も最初はそう思っていましたけどこう毎回赤字が出ていて、税金からとなると市内の人に見てもらいたい、黒字になるような公演を作って市内の人に還元できるようにしていただきたいですね。

【事務局】

そうですね。市内の方に還元できるようにしたいと思います、今後もやっていきます。

他に何かご意見はありませんか。

【事務局】

では、以上をもちまして、終わりにしたいと思います。長時間にわたりありがとうございました。

使用した資料

- 1 平成 29 年度第 1 回印西市文化ホール運営会議次第
- 2 文化ホール運営会議資料
 - 資料 1 平成 28 年度事業報告
 - 資料 2 平成 29 年度事業計画
 - 資料 3 平成 30 年度事業計画（案）
 - 別紙 4 平成 30 年度印西市文化ホール主催事業（案）記入用紙
 - 別紙 5 平成 30 年度印西市文化ホール主催事業（案）記入用紙例

平成 29 年度第 1 回印西市文化ホール運営会議の会議録については、事実と相違ないことを認め、当運営会議はこれを承認する。

平成 29 年 9 月 12 日

印西市文化ホール運営会議

委 員 君塚 信宏